

# 久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴り、「日本共産党大府東後援会」のニュース（年に4回発行）に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2023年7月に発行された「後援会ニュース」  
2023年夏号」に掲載したものです。

## 高すぎる学費軽減を

議員になって16年。我が家の子どもの成長に合わせるように、「保育園の待機児童問題」「1000人を超える大府小のマンモス校問題」などに取り組んで



きました。

○歳だった子ども今は高校生。上の2人は大学生になり教育費の負担を実感しています。入学しなくても30万円を支払わなければならない日本独自の入学金制度や、国公立でも年間50万円以上必要な高すぎる授業料。親元を離れ一人暮らしとなればさらに生活費が必要です。

6人の子どもをもつある保護者は「子どもは進学を望んでいるが就職してもらえない」と。切実です。学びたい子どもたちが進学を選べない、日本の高すぎる教育費。そのため、学生の3人に1人が平均300万円もの奨学金という名の「借金」を背負っているとのこと。30歳代、40歳代でやっと完済したと思ったら、今度は自分の子どもが大学生という年代になるのです。子育てに不安を持つのは当然です。

高すぎる学費の軽減、若者の自立支援など公約実現のために、党国会議員団とも連携しながら5期目も頑張っていく決意です。

